



くぬぎ学級通信

# くぬぎ



令和6年9月24日

No.34

発行責任者：角田 敏文

文責：小河 美智子



## 活動の様子



### ○東白川郡特別支援学級交流会

9月20日（金）の午前中に旧山岡小学校体育館にて、東白川郡小中学校特別支援学級交流会が行われ、今年度も「鮫川・棚倉班」と「矢祭・埴班」の2班に別れて別々の会場での実施となりました。

鮫川中学校は、鮫川小学校・社川小学校・高野小学校・棚倉小学校・棚倉中学校のみなさんと一緒に、学校紹介やゲームレクリエーション等で楽しく交流しました。

今年にくぬぎ学級が開会式の進行担当で、この日のために毎日、教室で何度も何度も練習をしてきました。美穂さんが総司会、蒼空さんが開会の言葉・マイク係・閉会式で感想を発表する担当、音弥さんが終わりの言葉の係でした。本番では練習の甲斐もあり、堂々と立派に努めを果たし、他校の先生方からお褒めの言葉をいただきました。

また、学校紹介では学級で制作したマスコットやNIE（新聞学習）の模造紙を披露し、くぬぎ学級の良さをしっかりアピールしてきました。

行事を通してまたひとつ、心身共に大きく成長することができました。



【交流会の感想】 😊

- 金澤 蒼空さん：開会の言葉やマイク出しは緊張しましたが、練習通りがんばってきちんとできました。人がたくさんいて不安そうにしている小学生に、やさしく声をかけてあげることができました。ゲームはドッジビーが盛り上がり楽しかったです。
- 鈴木 音弥さん：たくさんの人前で緊張しましたが、開会式の終わりの言葉をはっきり言えました。「礼」もていねいにできてよかったです。じゃんけんリレーでは、じゃんけんに勝って王様になれたのがうれしかったです。
- 本郷 美穂さん：初めての司会は緊張しましたが、練習の成果が出て、はっきりと話すことができました。いろいろな学校の人たちと楽しくゲームをすることができて、特にじゃんけんリレーが楽しかったです。

